



平成29年4月10日

浜松経済記者クラブ
各報道機関 御中

国立大学法人静岡大学
理事（研究・社会産学連携担当）
イノベーション社会連携推進機構長
木村雅和

知財インターンシップによる学生の知財教育を通じた産学連携の取り組みについて

静岡大学は、静岡県、浜松信用金庫と連携・協力の下、知的財産権をテーマとしたインターンシップを実施します。

つきましては、下記の予定でガイダンスを行いますので、各報道機関の皆様、是非、ガイダンス当日の取材方よろしくお願いたします。

記

日時：平成29年4月13日（木）16:05～17:35

平成29年4月20日（木）16:05～17:35

場所：静岡大学 浜松キャンパス 工学部総合研究棟23教室

○報道概要

静岡大学は、静岡県、浜松信用金庫と連携・協力の下、知的財産権（以下、「知財」という。）をテーマとしたインターンシップ（以下、「知財インターンシップ」という。）を実施し、学生の知財教育を通じた産学連携の促進を目指している。企業の重要な経営資源である知財に触れ、現場での知財戦略を体験することで学生の知財に対する見識を深めることや、受入先企業と学生との特許調査等の協働により、地域企業への知財業務支援を行うことを目的としている。

本事業は平成24年より継続して実施されており、静岡県内の受入先企業からは、若者の新鮮でユニークな意見に接することが出来るなど大変有益な取り組みであると評価を頂いている。

本事業の特徴は以下のとおりである。

- ・インターンシップ前に事前学習を行い、知的財産に係る基礎知識を学習する。
- ・地域で活躍する弁理士が事前学習の講師となる。
- ・学生は、弁理士から直接指導を受け、特許調査、特許公報の読み方と解釈、特許分析について修得する。
- ・事前学習で身に付けたスキルとインターンシップ期間中にOJTで得た知識を融合し、期間中に実施した特許調査及び特許分析の結果について、学生が受入先企業に報告する。

- ・ 静岡大学が保有する特許（開放特許*）について、学生が受入先企業に直接説明を行い、地域企業での大学知財の展開・活用の可能性を検討する。

* 静岡大学の研究成果を権利化したものであり、企業へのライセンス可能な特許

学生へのガイダンスでは、知財インターンシップの目的と意義、知財インターンシップ実施のメリット、事前学習の授業「知的財産実践」の概要について説明を行う（添付資料1、2参照）。

なお、本事業は、以下のスケジュールで実施する。

- ・ 受入先企業の募集（添付資料3参照）及び受入先企業の決定（3月）
- ・ 「知的財産実践」ガイダンス開催（4月）
- ・ インターン生募集と選定（4月）
- ・ 事前学習（6月～7月）
- ・ ビジネスマナー研修（7月）
- ・ 受入先企業と学生のマッチング（7月）
- ・ 知財インターンシップ 1週間～2週間（8月～9月）
- ・ 報告会開催（10月）

お問い合わせ先

部局名 イノベーション社会連携推進機構

担当者 産学連携推進部門 土田

電話番号 054-238-4630

FAX番号 054-238-3018

メールアドレス chizai@cjr.shizuoka.ac.jp

国立大学法人 静岡大学 ウェブサイト <http://www.shizuoka.ac.jp/>

○広報室 〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836 TEL：054-238-5179 FAX：054-237-0089



知的財産実践

開講

(インターンシップ)

平成29年度

対象：工学部・情報学部3年生

履修受付
募集

本科目は、企業（知財関連部署）でのインターンシップを通じ、企業における知財の管理や戦略に触れることで、知財の保護と活用について理解を深め、知的財産に係る実務能力の向上を図ることを目的としています。企業の知財に触れる貴重な経験が出来ますので、興味のある方はぜひ受講してください。

※本科目の単位(2単位)を取得した場合、全学教育科目の「学際科目」の単位として計算されます。

※本科目は集中講義のため、履修科目の登録単位数の上限から除外されます。

※履修登録は大学事務で行いますので、学生自身による登録は不要です。

1 ガイダンスに参加しよう！



履修希望の学生は勿論、説明を聞いてから履修を判断したいという学生も歓迎します！

履修希望者は必ずガイダンスに参加してください。

授業内容の説明を行います。



日程：①4月13日(木) 16:05 ~ 17:35

②4月20日(木) 16:05 ~ 17:35

場所：工学部総合研究棟23教室

※どちらか都合のつく日程で参加してください。

2 事前学習

(木曜 9・10時限、6~7月に7回実施)



【主な学習テーマ】

- 特許書類の読み方
- 特許情報の重要性、調査方法の学習
- J-PlatPat (特許等検索データベース) を用いた国内特許の検索方法
- Espacenet 等を用いた外国特許の検索方法
- 特許情報の活用方法
- 開放特許を用いた発明内容の学習 等



『知財インターンシップ』で、 企業の知財に触れてみよう。

3 インターンシップ実施



大学の夏季休業期間内（8月～9月）で企業での就業体験（5日間以上）

【インターンシップ受入候補企業】

エンシュウ株式会社、国本工業株式会社、株式会社システック、
スズキ株式会社、株式会社ソミック石川、株式会社巴川製紙所、
日星電気株式会社（アイウエオ順）

4 事後報告会



インターンシップ終了後、報告会で実習内容を報告していただきます。



5 講師紹介 居藤特許事務所 所長・弁理士 居藤洋之



1971 年まれ
静岡大学工学部機械工学科卒
職歴：ローランドディー・ジー株式会社：株式会社福居（治工具機械設備の設計製作）
：国内特許事務所：居藤特許事務所（これまでの取扱い企業数 300 社以上）
公職：静岡大学客員教授（2012 年～）：静岡県立大学非常勤主任講師（2012 年～）
：日本弁理士会東海支部静岡県委員会委員長（2011 年）
：発明協会、商工会議所等での発明相談員

静岡大学 イノベーション社会連携推進機構 土田

お問い合わせ



054-238-4630



chizai@cjr.shizuoka.ac.jp

協力機関



浜松信用金庫

静岡県